

令和3年度 地域運動部活動推進事業（休日の段階的な地域移行） 成果報告書

拠点校	当別町立当別中学校（生徒数 184名：教員数 18名） 当別町立西当別中学校（生徒数 136名：教員数 19名）																
部活動名 部員数	当別中学校陸上部（1年生 9名・2年生 4名） 当別中学校野球部（1年生 4名・2年生 5名） 西当別中学校野球部（1年生 0名・2年生 3名） 当別中学校バスケットボール部（1年生 10名・2年生 7名） 西当別中学校バスケットボール部（1年生 5名・2年生 1名）																
運営団体	特定非営利活動法人ふれ・スポ・とうべつ リーフラス株式会社																
本事業実施 の経緯	<p><本事業を取り組むことに至った背景・理由></p> <p>競技経験や指導経験のない種目を指導することが負担となっている教員と、熱心に指導している教員がいることから、外部人材を活用した負担軽減と、指導を希望する教員が引き続き指導を行うことができる仕組みづくりを検証するため</p>																
本事業での 活動実績	<p><教員の勤務時間の変容></p> <p>陸上部の顧問は、専門的な技術指導をする外部の指導者が入り、負担軽減につながったが、野球部及びバスケットボール部の顧問は、部活動指導の時間が地域部活動での従事時間となり、個々人のトータルの業務従事時間としては変化していない。</p> <p><地域スポーツの年間活動時間></p> <p>陸上部 11回実施・25時間 野球部 6回実施・16時間 バスケットボール部 7回実施・19時間</p> <p><意識調査結果分析></p> <p>・今後も地域部活動を続けてほしいですか（アンケート結果）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>続けてほしい</th> <th>どちらでもよい</th> <th>続けてほしくない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>67%</td> <td>33%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>52%</td> <td>48%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>教員</td> <td>75%</td> <td>25%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>		続けてほしい	どちらでもよい	続けてほしくない	生徒	67%	33%	0%	保護者	52%	48%	0%	教員	75%	25%	0%
	続けてほしい	どちらでもよい	続けてほしくない														
生徒	67%	33%	0%														
保護者	52%	48%	0%														
教員	75%	25%	0%														

<p>関係団体との体制構築</p>	<p><実際の体制> 管理・運営、地域部活動のコーディネート</p> <p><体制構築する上での課題・対応方法等> 学校と教育委員会への連絡・調整</p> 
<p>効果的に促進する支援体制</p>	<p><活動を支援するために必要なこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・費用負担の支援 ・教員の兼職兼業における手続き上の支援
<p>課題の克服方法等</p>	<p><実践してみて分かった課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者謝金の設定や費用負担者に関すること（行政・保護者） ・補償額を日本スポーツ振興センター並みにする場合の、保険料の費用負担に関すること <p><それらの克服方法・方向性></p> <p>国や北海道から市町村への財政支援、保護者の費用負担に理解を求めるための丁寧な説明</p>
<p>他地域への普及方法</p>	<p><普及するために必要なこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・費用の確保 ・受け皿となる団体の確保 
<p>その他</p>	<p><次年度以降の実施に向けて必要なこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け皿となる団体の検討と指導者の確保 ・費用負担の保護者への理解